

JOYO BANK NEWS LETTER

2026年7月6日

めぶきビジネスアワード受賞プランの社会実装に向けた伴走支援について ～筑波大学発ベンチャー企業の製品「SOKOAGE®」の実証実験を開始～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、地域発のベンチャー企業のさらなる事業化と社会実装を支援することを目的に、実証実験（以下、PoC）を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本 PoC では、第 9 回めぶきビジネスアワード「奨励賞」受賞企業である株式会社 moreover（代表取締役 大西 安季）が開発したヘルスケア製品「SOKOAGE®（ソコアゲ）」を対象に、当行行員による使用を通じて、ウェルビーイング向上への効果を約 3 カ月にわたり検証します。

めぶきビジネスアワードは、地域に潜在する革新的で創造的なビジネスプランを表彰するとともに、受賞プランの事業化や成長に向けたサポートを行う取り組みです*。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンの目指す姿として掲げ、今後とも、ステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともに歩み、解決することで、新たな価値を創造し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

※＜参考ニュースリリース＞ 2026年1月20日付「[第9回めぶきビジネスアワード](#)」受賞プランの決定および表彰式の開催について

記

1. PoC の概要

対象企業	株式会社 moreover（筑波大学発ベンチャー企業）
対象製品	骨盤底筋セルフケア製品「SOKOAGE®（ソコアゲ）」
製品概要	尿漏れや頻尿の悩みに対し、手軽に行えるセルフケアを提案する製品です。骨盤底筋の柔軟性向上を図る「SOKOAGE®」は、専門知識がなくても手軽に使用でき、生活空間になじむデザインと低コスト設計を実現しています。2025年度グッドデザイン賞を受賞しています。
PoC 期間	2026年7月上旬 から9月下旬の12週間（約3カ月間）
実施内容	① 行員モニターによる効果検証 ・本行員モニター計25人を対象に、日常の執務環境や自宅などでの継続使用を通じて、QOL（生活の質）の向上や体調管理への効果について、定期的なアンケート調査を実施します。 ② 行内の共用スペースなどへの実証導入 ・モニター個人に加え、本店ビル内の共用スペースや別館診療所の待合室に、対象製品と解説チラシを配置し、利用者の反応やニーズを調査します。
今後の展開	本 PoC で得られた定量的・定性的な検証結果は、集計・匿名化した上で、株式会社 moreover における次世代モデルの開発・改良や量産化体制の構築に活用されます。



常陽銀行



常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

2. PoC の目的と背景

当行は、第4次グループ中期経営計画（2025年度～2027年度）を「持続的成長に向け、進化を加速する期間」と位置づけています。本PoCは、重要課題（マテリアリティ）の一つである「地域産業の成長支援」と、当行グループが推進する「健康経営（ウェルビーイング）」を組み合わせ、めぶきビジネスアワード受賞企業への新たな伴走支援です。

(1) スタートアップ企業の成長支援を通じた社会的インパクトの創出

「社会課題解決戦略」に基づき、筑波大学発ベンチャー企業の優れたプランを早期に社会実装するため、当行がユーザーとなって実証の場を提供し、事業初期のデータ蓄積と導入事例の創出を後押しします。

(2) 「健康経営」のさらなる推進

行員を対象に製品の効果検証を行うことで、行員の健康増進とQOL向上を図り、健康経営のさらなる推進を目指します。



骨盤底筋セルフケア製品
「SOKOAGE®」

実証実験の開始にあたり、製品の導入式を実施
（写真右）株式会社 moreover 代表取締役 大西 安季
（写真左）株式会社常陽銀行 頭取 秋野 哲也

以 上